

公衆衛生学

責任者名：川戸 貴行

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

◆担当教員

川戸 貴行(衛生学 教授)

皆川 なほ子(衛生学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

健康づくりの担い手として社会に貢献するうえで必要となる公衆衛生と生活環境の知識を修得する。

◆到達目標 (SBOs)

- ・ 公衆衛生の変遷、ならびに日本の社会保障制度における公衆衛生の役割を説明できる。
- ・ 保健医療福祉施策の立案の基本となる人口統計について説明できる。
- ・ 感染症の要因とその対策・制度と、主な感染症の流行状態について説明できる。
- ・ 我が国の国民栄養の問題点を説明できる。
- ・ 各種の保健施策の関連法規と国・都道府県・市町村の役割を列挙できる。
- ・ 母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、障害者保健における施策を具体的に説明できる。
- ・ 環境が健康に及ぼす影響を説明できる。

◆評価方法

授業内の小テスト (5%)、授業とは別に6月3日(土)に実施する平常試験 (25%)、および定期試験 (70%) で評価する。

試験範囲は、平常試験では第1～7回、定期試験ではすべての授業回とする。

授業内にて複数回に分けて平常試験を解説する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
川戸 貴行	水曜日 17:00～18:00 本館7階 衛生学講座	kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp	
皆川 なほ子	質問等は授業終了直後に受ける。		

◆授業の方法

教科書をもとに毎回の授業を進め、平常試験で理解度の確認と振り返りを行う。

小テストがある授業回では、授業開始時の出席確認に加えて期限内の課題提出をもって出席とする。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	新編 衛生学・公衆衛生学	安井利一、他	医歯薬出版株式会社	2021
参考書	生活と健康 -測定と評価法- 第5版	荒川浩久、他	学建書院	2016
参考書	口腔衛生学 2022	松久保 隆、八重垣 健、前野 正夫、他	一世出版	2022
参考書	国民衛生の動向 2022/2023 年版		厚生統計協会	2022

◆DP・CP

コンピテンス1：歯科医師としてのプロフェッショナルリズム

コンピテンシー：4

コンピテンス4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：7

コンピテンス7：地域社会への貢献

コンピテンシー：1, 4

◆準備学習(予習・復習)

予習として、各回の学習項目を事前に確認し、教科書を読むこと。

復習として、小テスト（重要事項の書き出し）や配布資料で示す確認事項を参照しながら授業を振り返ること。

◆準備学習時間

各々授業時間の2倍相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

プロフェッショナルリズムと行動科学（2年後期）

口腔衛生学（3年前期）

地域保健学（6年前期）

歯科保健医療と社会（6年前期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.4	3	1. 衛生学・公衆衛生学序論 1) 衛生・公衆衛生学の意義と目的 2) 衛生・公衆衛生の歴史 (1) 健康の定義	・公衆衛生の意義・目的を、疾病構造と健康問題の変遷を踏まえて説明できる。 ・WHOなどが提唱する健康に関する重要事項と健康日本21をはじめとする日本の健康増進対策を知り、口腔衛生学第1回の講義（4月4日	川戸 貴行	B-1 健康の概念 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度 B-3-1) 予防の概念

				<p>(2) アルマ・アタ宣言</p> <p>(3) オタワ憲章</p> <p>(4) 健康の社会的決定因子</p> <p>(5) 健康格差</p> <p>3) 健康日本 21</p> <p>4) 健康の概念と疾病の自然史</p> <p>(教) pp.1-17</p>	<p>5限) の学修項目の要点理解の準備ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と疾病の連続性の概念を知り、口腔衛生学第2回の講義(4月4日6限)の学修項目の理解に向けた準備ができる。 		
2		4.11	3	<p>2. 人口統計</p> <p>1) 人口統計指標</p> <p>(1) 人口ピラミッド</p> <p>(2) 年齢3区分</p> <p>2) 日本の人口静態統計と動態統計</p> <p>(1) 出生率・死亡率</p> <p>3) 生命表</p> <p>4) 世界の人口問題</p> <p>5) 国が行う保健・医療・福祉関連の統計調査</p> <p>(教) pp.47-62</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口事象の観察の意義を、保健・医療・福祉の視点で説明できる。 ・各種の人口統計指標と我が国の人口統計調査を、静態統計と動態統計に分けて説明できる。 ・平均余命、平均寿命について説明できる。 ・国が行う保健・医療・福祉関連の調査を基幹統計と一般統計に分け、各調査項目を列挙できる。 	川戸 貴行	B-4-2) 保健医療統計
3		4.18	3	<p>3. 感染症対策</p> <p>1) 感染症の成立要因と対策</p> <p>(1) 感染源</p> <p>(2) 感染経路</p> <p>(3) 宿主感受性</p> <p>(4) 予防接種</p> <p>2) 地域における感染症対策</p> <p>3) 院内感染対策の概要</p> <p>4) 感染症対策に関する法律</p> <p>(教) pp.63-79</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の成立要因を列挙し、要因ごとの対策を説明できる。 ・感染症対策における保健所の役割を説明できる。 ・院内感染対策の要点を概説できる。 ・感染症法に基づく感染症の流行対策(類型分類を含む)を説明できる。 ・予防接種法の目的と対象疾病を列挙できる。 ・感染症対策の関連法規として、医療法、学校保健安全法、労働安全衛生法、廃棄物処理法を概説できる。 	川戸 貴行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

4		4.25	3	<p>4. 環境保健</p> <p>1) 環境要因と健康</p> <p>(1) 公害</p> <p>(2) 地球環境と健康</p> <p>(教) pp.97-103</p> <p>2) 生活環境と健康</p> <p>(1) 環境基本法</p> <p>(2) 環境アセスメント制度</p> <p>(教) p.104</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境要因と健康の関係性について説明できる。 ・公害の原因や歴史・現状を概説できる。 ・温暖化、酸性雨、砂漠化、オゾン層破壊等の地球環境の変化がヒトの健康に及ぼす影響を学び、要点を列挙できる。 ・環境基本法と環境アセスメントの趣旨を説明できる。 	皆川 なほ子	B-2-4) 環境と健康
5		5.9	3	<p>4. 環境保健</p> <p>2) 生活環境と健康</p> <p>(3) 温熱</p> <p>(4) 大気</p> <p>(5) 上水道・下水道</p> <p>(6) 騒音・振動・照度</p> <p>(教) pp.104-115</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・温熱因子の測定方法を列挙できる。 ・温熱の総合指標を説明できる。 ・温熱因子や空気成分と健康の関係とについて説明できる。 ・上水道と下水道の定義と普及状況を説明できる。 ・水質基準や指標と浄化方法の要点を説明できる。 ・騒音・振動・照度に起因する健康障害を概説できる。 	皆川 なほ子	B-2-4) 環境と健康
6		5.16	3	<p>4. 環境保健</p> <p>3) 化学物質対策</p> <p>4) 廃棄物処理</p> <p>5) 放射線と健康</p> <p>(教) pp.104-115</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質による環境汚染と健康障害の要点を説明できる。 ・廃棄物処理法に基づく廃棄物の分類と処理責任者の要点を説明できる。 ・産業廃棄物処理のマニフェスト制度について説明できる。 ・感染性廃棄物の定義、保管、処理について説明できる。 ・放射線の種類、被曝による健康への影響、対策について概説できる。 	皆川 なほ子	B-2-4) 環境と健康
7		5.23	3	<p>5. 栄養・食中毒</p> <p>1) 食事摂取基準</p> <p>2) 食生活指針</p> <p>3) 国民健康・栄養調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取基準の策定の目的、改訂の概要、ならびに各栄養指標の目的を説明できる。 ・食生活指針、食事バランスガイド、食育について説明できる。 	川戸 貴行	B-1 健康の概念 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				<p>4) 食中毒 5) 健康食品 (教) pp.80-96</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康・栄養調査の概要と主要な項目の結果を説明できる。 ・食中毒の種類を原因別に分け、発生状況と予防法について説明できる。 ・健康食品に関する表示と分類、制度を説明できる 		B-4-2) 保健医療統計
8		5.30	3	<p>6. 社会と保健医療の仕組み 1) 公衆衛生と社会保障・衛生行政 (教) pp.125-131 7. 地域保健 1) 地域保健活動の概要 （1）地域保健の意義・方法と変遷 （2）地域保健活動の法令 （3）保健活動の組織と従事者 2) 地域保健活動の進め方 3) 地域包括ケアシステム (教) pp.132-144</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の概念を説明できる。 ・社会保障制度における衛生・保健・医療・福祉・介護が担う役割を概説できる。 ・地域保健の意義、健康の社会的決定因子、ポピュレーション/ハイリスクストラテジーについて説明できる。 ・地域保健活動の関係法規と組織を列挙し、目的や役割を概説できる。 ・地域保健活動の進め方をヘルスプロモーションの概念と実例を踏まえて説明できる。 ・地域包括ケアシステムの理念と必要性和歯科の役割を説明できる。 	川戸 貴行	A-7-1)地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
		6.3	3	<p>平常試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義の第1～7回に関する内容の理解度を試験によって確認する。 		A-7-1)地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
9		6.6	3	<p>8. 母子保健 1) 母子保健の意義・動向 2) 母子保健の組織 3) 母子保健活動 4) 母子保健の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健の意義と動向を概説できる。 ・母子保健の活動組織を説明できる。 ・母子保健法に基づく妊娠の届け出をはじめとする一連の母子保健対策を列挙し、説明できる。 ・母子保健の課題対策としての健や 	川戸 貴行	A-7-1)地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				(教) pp.149-161	か親子 21、子育て支援、児童福祉、生殖医療、出生診断、女性の健康支援の要点を説明できる。		
10		6.13	3	9. 学校保健安全 1) 学校保健安全の意義・動向 2) 学校保健活動の組織・関係法規 3) 学校保健活動(学校保健の3領域) 4) 学校保健の課題 (教) pp.162-178	・学校保健安全の意義と動向を学齢期の健康状況とともに概説できる。 ・学校保健の組織体系、学校保健関係者とその役割を説明できる。 ・学校保健教育・管理・組織活動から成る学校保健活動の領域を理解し、それぞれの活動内容を関連法規とともに説明できる。 ・学校における安全問題、保健教育の重要性、児童虐待などの新たな課題とその対策を列挙できる。	川戸 貴行	A-7-1)地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
11		6.20	3	10. 産業保健 1) 産業保健の意義・動向 2) 産業保健活動の組織・関係法規 3) 産業保健活動 (1) 労働衛生の3管理 (2) トータルヘルスプロモーション・プラン 4) 主な職業性疾病とその対処 5) 職域における課題 (教) pp.179-191	・産業保健の意義と動向を労働災害と職業性疾病の状況とともに概説できる。 ・産業保健の組織体系と労働安全衛生法をはじめとする関係法規の役割・目的を説明できる。 ・作業環境管理・作業管理・健康管理から成る産業衛生の3管理とメンタルヘルス対策を含むトータルヘルスプロモーション・プランを説明できる。 ・主な職業性疾病とその対応を列挙できる。 ・職域保健の新たな課題とその対策を列挙できる。	川戸 貴行	A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
12		6.27	3	11. 成人保健・生活習慣病対策 1) 成人保健の意義・生活習慣病の動向 2) 成人保健活動 (1) 健康日本 21 (2) 特定健康診査・特定保健指導 (3) 健康増進法	・成人保健の意義を生活習慣病の動向とともに概説できる。 ・第1回の講義内容を踏まえ健康日本 21 と成人保健施策との関連性を説明できる。 ・各種成人保健活動を根拠法と実施者とともに列挙し、内容を説明できる。 ・第2学年後期教科プロフェッショナルリズムと行動科学の履修内容を踏	川戸 貴行	A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				に基づく市町村の健康増進事業 (4) がん対策 3) 健康教育 4) 成人保健の課題 (教) pp.192-210	まえ、生活習慣病対策の基本となる健康教育と行動変容の要点を説明できる。 ・成人保健の新たな課題とその対策を列挙できる。		
13		7.4	3	12. 高齢者保健 1) 高齢者保健の意義 2) 高齢者保健対策の現状と動向 3) 高齢者医療制度 4) 介護保険制度 (教) pp.212-222	・高齢社会、超高齢社会、健康寿命の定義を説明できる。 ・高齢者保健の現状、家族・世帯状況、加齢・老化、フレイル、介護予防、認知症、老齡症候群の視点で高齢者保健の意義を説明できる。 ・高齢者保健対策を関係法規とともに説明できる。 ・後期高齢者医療制度について概説できる。 ・介護保険制度の利用の流れを理解し、介護保険関連施設の種類と地域包括支援センターの役割を列挙できる。	皆川 なほ子	A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度
14		7.11	3	13. 障害者福祉 1) 障害福祉の意義 2) 障害者福祉の動向 3) 障害者福祉の組織体系・活動 4) 障害者福祉の課題 (教) pp.223-232 14. 精神保健医療福祉 1) 精神保健医療福祉の意義 2) 精神保健医療福祉の動向 3) 精神保健医療福祉の組織体系・活動 4) 障害者福祉の	・障害の考え方と我が国の対策の変遷を説明できる。 ・障害者数の推移の要点を列挙できる。 ・国際障害分類、国際生活機能分類、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザイン、バリアフリーを説明できる。 ・障害福祉施策、難病の定義を説明できる。 ・障害者福祉の組織体系と活動を説明できる。 ・精神保健医療福祉の考え、改正精神保健福祉法、精神保健医療福祉の取り組みの要点を説明できる。 ・精神障害者数の推移と医療体制、社会復帰施策を説明できる。 ・精神保健医療福祉の組織と活動をライフステージごとに説明できる。	皆川 なほ子	A-7-1) 地域医療への貢献 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				課題 (教) pp.233-239			
15		7.18	3	<p>15. 国際保健 1) 世界の保健医療の問題と方向性 2) 国際保健医療の交流・協力 (教) pp.240-246</p> <p>16. 地域における健康危機管理 (教) pp.145-148</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際保健の重要性、死因・健康リスク、SDGs について説明できる。 ・ 国際保健に関する機関、協力体制を説明できる。 ・ 災害や感染症の流行などの健康危機管理の重要性を説明できる。 ・ オールハザードアプローチ、トリアージについて説明できる。 	川戸 貴行	<p>A-7-1) 地域医療への貢献</p> <p>B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度</p>

